

2020年3月19日  
株式会社 秋田書店

## 週刊少年チャンピオン、チャリティーオークションの収益およそ1,000万円を全国の児童施設へ寄付

秋田書店 週刊少年チャンピオン編集部は、2019年6月に実施した「週刊少年チャンピオン50周年! 歴代作家が集合!! チャリティーオークション!」で集まった収益金9,621,630円を「赤い羽根共同募金」を通じて、放課後児童クラブなど、子どものための福祉活動に寄付をいたしました。

創刊50周年記念のチャリティーオークションに、人気漫画家13名の協力を得て約50点のレアアイテムを出品  
2019年7月に創刊50周年を迎えた少年向けコミック誌「週刊少年チャンピオン」は、半世紀分の感謝の気持ちを読者のみなさま、これからの未来を担う子どもたちにお届けしたいと、2019年6月に「ヤフオク! reU funding」にて、チャリティーオークションを企画。「週刊少年チャンピオン」にゆかりのある人気漫画家13名の協力を得て実施いたしました。



オークションには、週刊少年チャンピオンの50年間を彩ってきた貴重な生原稿や、人気作品に出演できる権利などのレアアイテム、約50点の商品を出品。多くの支援を集めることができ、最終的に当初目標の232%、トータル11,609,432円の売上を達成いたしました。



「赤い羽根共同募金」を通じて、放課後、保護者が家庭にいない子どもたちが過ごす施設に寄付  
 寄付先については、「赤い羽根共同募金」を運営する中央共同募金会と協議を重ね、放課後児童クラブなど全国の児童施設110箇所を決定。2020年1月に、売上金から一部運営費用を除いた収益金 9,621,630円の寄付を完了いたしました。また、支援先の児童施設には、「弱虫ペダル」コミックス6巻セットをあわせて寄贈させていただきました。

このたびの取り組みに対し、編集部には、多くの子ども達や施設を運営される方々から、感謝のお手紙やイラストが寄せられました。また、赤い羽根共同募金を運営する、中央共同募金会 事務局長 阿部陽一郎氏からは、感謝状も頂戴いたしました。





中央共同募金会事務局長 阿部陽一郎氏（左）から、感謝状を受けとる週刊少年チャンピオン編集部編集長 武川新吾（右）

<週刊少年チャンピオン編集部 編集長 武川新吾からのコメント>

「今回のチャリティー・オークションに関わっていただいた多くの方々に、心から感謝いたします」

秋田書店は週刊少年チャンピオン等を通して、子どもたちに夢と未来への希望を与えられる存在でありたいと、使命を再認識しました。

**「週刊少年チャンピオン50周年! 歴代作家が集合!! チャリティーオークション!」  
に賛同、ご協力くださった先生方（五十音順）**

**荒達哉先生、石黒正数先生、板垣恵介先生、板垣巴留先生、車田正美先生、つのがい先生、永井豪先生、中村勇志先生、西修先生、浜岡賢次先生、盆ノ木至先生、米原秀幸先生、渡辺航先生**

## ■放課後児童クラブとは

放課後児童クラブは、学童保育とも呼ばれる活動で、共働きなどを理由に保護者が昼間家庭にいない子どもたちに対し、「安全な生活を送れるように」という願いを込めて全国につくられた施設・サービスです。

しかし、全国の多くの施設では、子どもたち一人ひとりが使うおもちゃや遊具が、十分に整備されているとは言えない状況があります。また、子どもたちの生活をより豊かにするために行われる、クリスマス会など季節の行事や、学習活動を実施する費用にも支援が必要とされています。

秋田書店は創立者故秋田貞夫が、戦後間もない世情騒然とした昭和23年に「日本の子どもたちに正義の精神と夢の世界を取り戻し、希望を与えよう」と出版を志して、月刊誌『冒険王』を創刊して以来、少年・少女漫画誌を中心に創立の志を忘れず、出版社の使命と責任を果たすべく、努力しております。

株式会社 秋田書店

創立 | 1948年8月10日

代表者 | 代表取締役社長 樋口茂

事業内容 | 雑誌・書籍・コミックス・文庫・児童図書・メディアミックスなど

本件に関するお問合せ先

(電話、メールアドレス等を記載)